

パーソナリティ・アセスメント<初級>

事例から学ぶ心理アセスメント

～ P-F スタディ ～

*当財団(講座)は「臨床心理士」資格取得者の研修機会として、(公財)日本臨床心理士資格認定協会より「短期研修機会(ワークショップ)」の承認を受けております。 <承認期間:平成2017年7月1日～2022年6月30日 承認番号:W29111>

期 日：2020年10月4日(日)

受講対象：臨床心理士・スクールカウンセラー・相談員・教師等またはそれらを目指している方、病院・学校・児童相談所・矯正施設・福祉施設等の各現場に関わっている専門家の方、および、心理アセスメントに興味のある方で、P-F スタディについての基礎的な知識を有する初心者

定 員：80名(定員になり次第締切りますのでホームページなどでご確認ください)

受講料：7,500円(税込み) ※昼食は各自おとりください

主 催：公益財団法人 明治安田こころの健康財団 TEL 03-3986-7021

会 場：明治安田こころの健康財団 講義室 ※詳細地図は受講証に添付いたします
東京都豊島区高田3-19-10
JR山手線・西武新宿線・東京メトロ東西線「高田馬場駅」下車徒歩約7分

臨床現場で心理アセスメントに求められているのは、クライアントが抱えている心理的問題を個別に的確に把握し理解することです。そのためには、面接法や観察法といった方法に加えて、検査法が有益な情報を提供してくれます。その道具としての各種心理検査について本財団では2003年度から『パーソナリティ・アセスメント講座』と題し、心理臨床の現場で用いられている心理検査を取り上げた研修講座を始めました。「入門講座」ではまったくの初心者を対象に各種心理検査の基礎を、そして少人数による「中級講座」では参加者が実施した事例を中心に学習を行っています。

今回の初級講座は、検査やその実施についての知識はあるものの、実際の事例についてはほとんど経験のない方や解釈の実際を学びたいという人たち向けの、いわば入門と中級をつなぐ講座です。講師の先生がご自身で実施した心理検査事例を基に解説してもらい、解釈の実際を学んでいただく研修会です。今年はP-Fスタディを取り上げました。P-Fスタディは理論に基づく投影法心理検査です。知識としてだけでなく、P-Fスタディの読み方を体得していただく機会になればと願っています。今回は病院臨床に経験の深い沼先生に講師をお願い致しました。

【企画講師 小川 俊樹】

【プログラム】

日程	時間	テーマ	講師(敬称略)
10月4日(日)	9:45～10:45	ガイダンス (本事例理解のための基礎知識など)	放送大学 客員教授 小川 俊樹
	10:55～12:10	P-F スタディの解説	立正大学 教授 沼 初枝
	12:10～13:15	昼 食 (各自おとりください)	
	13:15～14:45	事例の紹介と P-F スタディの解釈	(前 掲) 沼 初枝
	15:00～16:30	事例の紹介と P-F スタディの解釈	

※時間割・テーマ等が変更となる場合があります。予めご了承ください。